

様式第2号(第7条関係)

会議の開催結果

1 会議の名称	平成29年度第4回桜区区民会議
2 会議の開催日時	平成29年11月21日(火) 14時00分～15時30分
3 会議の開催場所	桜区役所4階大会議室
4 出席者名	【委員】飯塚委員、岩田委員、榎本委員、 大江委員、岡島委員、小川委員、小山委員、川上委員、 島崎委員、高澤委員、長沢委員、原委員、福島委員、 古屋委員、渡辺委員 【事務局】コミュニティ課原田課長、青木課長補佐、 小山主事 【運営支援】山口、石川 (エコまちづくりフォーラム(株))
5 欠席者名	五十嵐委員、市村委員、小澤委員、河野委員、千葉委員
6 議題及び公開又は非公開の別	(議題) (1) テーマの協議・意見交換 (2) その他 (公開又は非公開の別) 公開
7 非公開の理由	
8 傍聴者の数	0人
9 審議した内容	議題について、協議を行った。
10 問合せ先	桜区役所 区民生活部 コミュニティ課 電話番号 048-856-6130
11 その他	

平成29年度 第4回桜区区民会議

日時 平成29年11月21日(火)

午後2時～

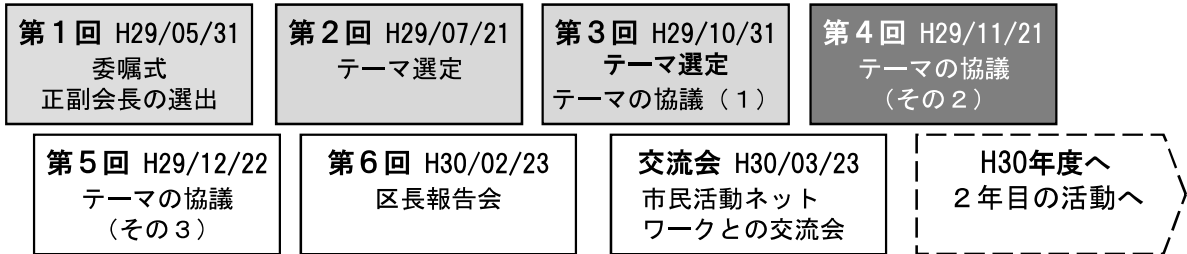
会場 桜区役所 4階大会議室

次 第

1. 開 会
2. 議 事
 - (1) テーマの協議・意見交換
 - (2) その他
3. その他
4. 閉 会

1. 本日の会議の概要

進め方は委員のみなさんで決めていきます



■ 前回 [第3回]

・ 前回会議を振り返り、情報共有などを行いました。



- ・ 委員アンケート結果を確認しました。
- ・ 協議テーマを選定しました。
- ・ 協議の進め方を確認しました。



- ・ ウォーミングアップを兼ねて最初の選定テーマ「安全に安心して暮らせるまちづくり」の「交通安全」について、協議を行いました。
- ・ 最後に結果の確認を行いました。



会議の結果を受けて、三役で次回会議の進め方などを検討しました。

■ 今回 [第4回]

・ 前回会議の結果を振り返り、今回の会議の進め方を確認します。



- ・ 今回から、本格的に選定テーマに沿った協議を進めます。
- ・ 前回の「安全に安心して暮らせるまちづくり」の「交通安全」について、ポイントを絞って協議を行います。
- ・ 最後に結果の確認を行います。



次回は、「安全に安心して暮らせるまちづくり」の「防災」について、協議を行う予定です。

2. 協議の進め方について

(1) 協議の対象テーマについて

第8期桜区区民会議として取り上げていくテーマ（分野と項目）は、委員アンケートの結果を参考に、以下の分野の①②の項目を優先することを確認しました。

分野Ⅰ. 安全に安心して暮らせるまちづくり（*）

項目：①交通安全、②防 災、（その他：防 犯、コミュニティバス）

分野Ⅱ. 健康でやさしく支えあうまちづくり（*）

項目：①子育て支援、②高齢者の支援、（その他：スポーツ、食 育）

分野Ⅲ. 心に文化を育むまちづくり（*）

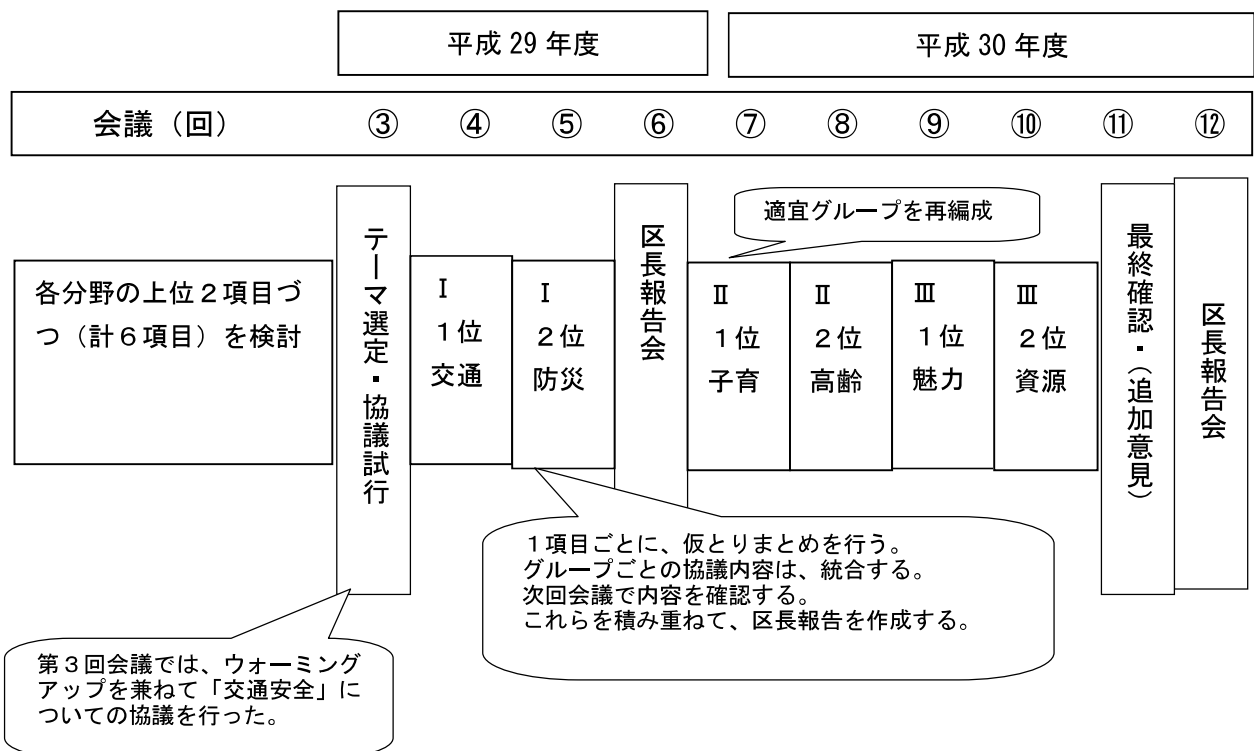
項目：①桜区の魅力づくり、②地域資源の活用、（その他：生涯学習、埼大との交流）

*：分野Ⅰ～Ⅲの名称は仮称ですので、本日の会議で、名称を決めます。 →（4）参照

(2) 協議のスケジュールについて

おおむね以下のスケジュールに沿って進め、必要に応じて軌道修正していくこととしました。

- ・ 1回の会議に1つの項目を協議します。
- ・ 協議は2グループに分かれ、同じテーマを並行して取り扱います。
- ・ 適宜グループメンバーの再編成を行います。



(3) 協議の方法について

- ・協議は2グループに分かれ、同じテーマを並行して取り扱います。
- ・毎回の会議の最後に協議内容を発表し確認します。



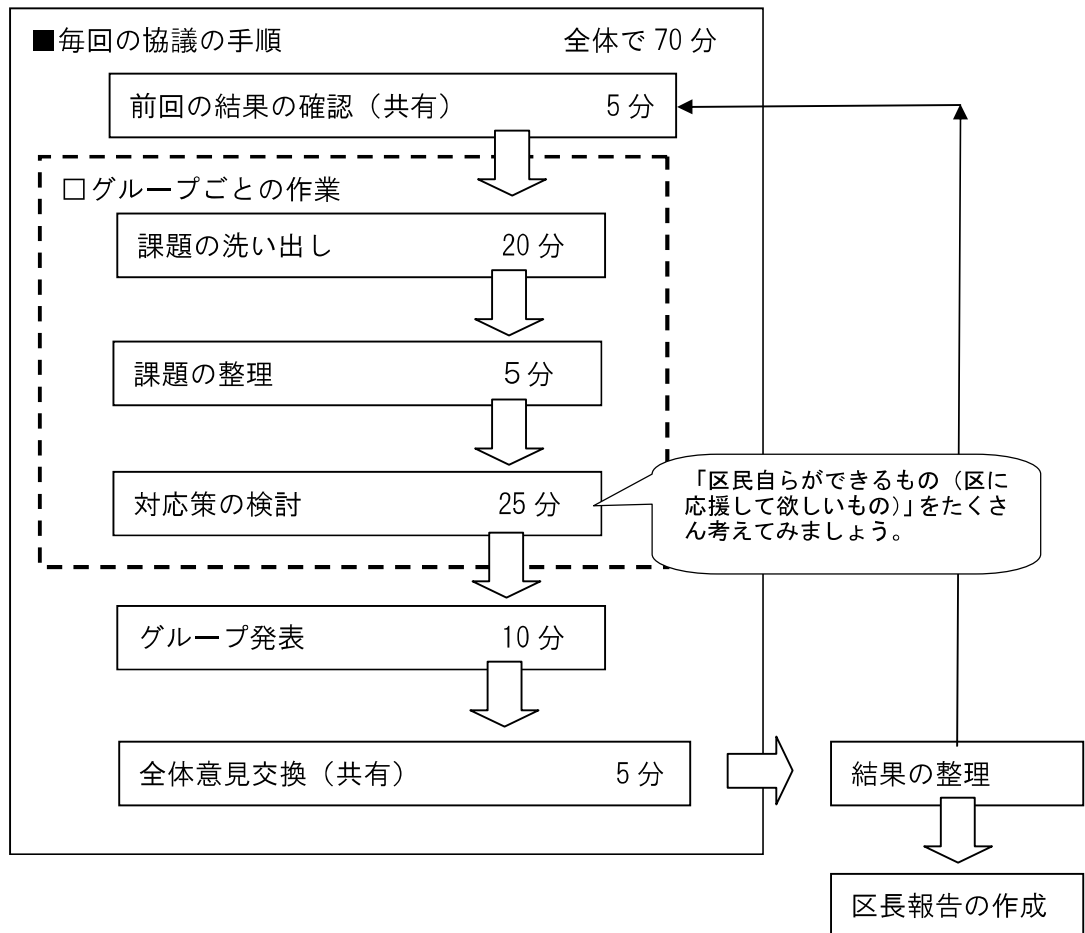
【基本はグループごとの協議】

2つのグループに分かれて、協議・意見交換を行います。
協議の進行などは、コンサルタントがサポートします。



【最後にお互いに発表し、共通認識づくり】

最後は内容を整理して、簡単な発表を行います。
他のグループへの意見や質疑応答などを行います。



(4) 協議テーマの名称の決定について

3つの分野について協議を進めていくこととなりますが、まずは「分野Ⅰ」の名称について協議し、決定しましょう。

分野Ⅰ. 安全に安心して暮らせるまちづくり（仮称）

【検討の際のキーワード】

- 対象とする場所 : 桜区、私達のまち、マイホームタウン、ふるさと
目指すもの : 安全と安心、ホッとする、心安らか、命を守る
どうやって : みんなで、一緒に
どうする : 考える、支える、守る、もっと良くする

【テーマの名称の例】

- ・ みんなで考える、ホッとできる私たちのまち「桜区」
- ・ みんなの心を安らかに、一緒に考えるもっといいまち桜区
- ・ みんなで一緒にみんなを守る、ふるさと桜区のまちづくり

(5) その他留意点について

進行のヒントとして、第7期（前期）桜区区民会議委員の感想を抜粋しました。

- ・ 初参加の場合、会議の目的を理解するのに時間がかかりました。
→桜区のまちづくりについて、意見を区長に報告し、区政（内容によっては市政）の参考にすることが主な目的です。
- ・ 意見交換のみの場なのか、方向性を出していくのかが見えづらかった感じがしました。
→意見交換が基本ですが、解決策やアイデアも歓迎です。
- ・ 理想論が多くなって、次の一手（具体的なアイデアや解決策）が少なかった。実現プランや実施運用まで関わるには、会議の回数が足りなかった。
→当日の会議だけでなく、メモなどで意見を出していただいてもかまいません。
- ・ 例えば「担い手をどうするか」が永遠のテーマになり、結論の出ない議題に時間がかかりすぎた点もあった。
→時間をかけても結論が出ない場合もありますので、適宜収束させましょう。
- ・ 桜区の住民像や地域性を理解したうえで議論できればよかった。
→必要に応じて、参考情報を紹介します。
- ・ それぞれの立場で活動している現況を知ることができました。
- ・ 経験や知識がなくても、疑問（質問）を投げかけることが必要と思いました。
- ・ より身近なテーマで意見交換ができればさらに盛り上がる。
→顔なじみになれたこと、いろいろな意見が聞けたこと、情報交換ができたこと、まちづくりは難しいものだと実感するだけでも成果があったと考えます。

平成 29 年度 第 4 回 桜区区民会議 議事要旨

日 時：平成 29 年 11 月 21 日（火）14 時 00 分～15 時 30 分

会 場：桜区役所 4 階大会議室

出席者（敬称略）

[第 8 期桜区区民会議委員（五十音順）] 15 名

飯塚 洋子、岩田 明子、榎本 文夫、大江 幸宣、岡島 玲子、
小川 宅次、川上 強、小山 春佳、島崎 幸子、高澤 翼、
長沢 正子、原 綾、福島 謙吉、古屋 静香、渡辺 常雄

[事務局]

桜区コミュニティ課
コンサルタント

[傍聴者] なし

欠席者（敬称略）

[第 8 期桜区区民会議委員（五十音順）] 5 名

五十嵐 一志、市村 明広、小澤 嘉昭、河野 宏、千葉 健太

議 事

- 1 開 会
- 2 議 事
 - (1) テーマの協議・意見交換
 - (2) その他
- 3 その他
- 4 閉 会

配付資料： 会議次第

資料 1 / 本日の会議の概要

資料 2 / 協議の進め方について

1 開 会

欠席者の確認、配付資料の確認を行った。

次に、事務局より、会議の公開、議事要旨の公開について説明があった。また傍聴希望者はいないことの報告があった。

2 議 事

(1) テーマの協議・意見交換

コンサルより、前回会議の内容確認、会議の進め方と協議の方法について説明があった。

仮称であった協議テーマの名称を正式に決めるため全委員で意見交換した結果、分野 I につ

いては「みんなで一緒にみんなを守る、ふるさと桜区のまちづくり」とすることとした。
その後、グループの所属メンバーを再編成し、2グループに分かれて意見交換を行った。

<グループ分け>

- A 川上会長、長沢副会長、岩田委員、小山委員、福島委員、
渡辺委員、榎本委員、島崎委員
- B 原副会長、高澤委員、飯塚委員、古屋委員、岡島委員、
大江委員、小川委員

【分野Ⅰ 交通安全について協議・意見交換】

- 協議の結果は付箋に記入し、模造紙に貼った。(以下のとおり)
- 各グループでの協議結果は、項目ごとに分類整理し、最後に発表して全員で共有した。

グループAの協議概要

①交通マナーや意識

ヒヤリハットマップについて

- ・家庭に貼ったままになってしまうことが多いが、持ち歩けると良い。
- ・情報が多すぎる感じもするので、地区や支部単位のような地域別、歩行者用、自転車用、車用などの対象者別も検討すると良いかもしれない。
- ・一番役に立てて欲しい子どもや高齢者が見やすいものがよい。
- ・現地に危険個所を示す目印があるといい。桜区のマスコットなどを利用したオリジナルのマークを作ってはどうか。また公募して子どものセンスを活かしてみたい。
- ・飛び出し注意の看板は効果的だが、夕暮れ時はもっと見やすくしたい。
- ・見通しの悪い樹木、植木の管理をしっかりとしたい。

高齢者のマナー

- ・いろんな集いがあるので、そこでPR、講習をこまめにしてはどうか。
- ・高齢者は、運動機能の低下、反射力の低下に気がつかないか、衰えていることを認めたくないようだ。
- ・高齢者に、わかってはいながら斜め横断や自転車の右側通行などのルール違反をする人が多いのは、なるべく楽をしたいという理由からである。これを踏まえて、安全啓発を考える必要がある。
- ・小学生を対象に、重点的に安全教育を行って、将来に期待したい。

②自転車の利用マナー

- ・法的な責任をもっと自覚してもらうことが必要。
- ・「自転車は左側通行」のステッカーを自転車の前後に貼るなど、安全運転ステッカー作戦を検討してはどうか。

- ・自転車保険が義務化されるので、登録番号を車体に見えるように貼るなどを励行させられないか。
- ・「ながらスマホ」をやめさせたいが、なかなか難しいと感じている。

③安全確保や整備

- ・暗い服装が多く、危ないと感じている。反射材は役に立つし、高齢者に配ると喜ばれる。
- ・傘やカッパに貼れるステッカー、光る手袋など、区民参加型で安全グッズアイデアを募集したい。特に小学生に考えてもらうのはどうか。

④高齢者の代替交通手段

- ・自動車や自転車を使えなくなると、一番困るのは買い物だと思う。
- ・代替手段としては配送も考えられるが、出かける楽しみも大切にしたい。
- ・遠くの大型スーパーに頼るだけでなく、近くのお店で買えるような環境も必要。
- ・「助けて欲しい人」と「助けられる人」を行政でマッチングする仕組みで、お助けグループ作りができるといい。
- ・コミュニティバスについて、免許を返納した人を対象に半額券を配る、土日も運行する、ルートを変更するなど日常の生活にもっと便利なものにしたい。

グループBの協議概要

①交通マナーや意識

桜区全体のヒヤリハットマップ作り

- ・A4サイズだけでなく、もっと範囲を大きく広げた「桜区のヒヤリハットマップ」を作ってはどうか。
- ・高齢者にわかりやすく文字を大きく、イラストも入れわかりやすく表示してはどうか。
- ・ヒヤリハットマップに、過去の事故例を入れてはどうか。
- ・桜区内の人は、道が狭いところに学生が飛び出してくることを、あらかじめ注意してはいる。
- ・「事故現場」と言う看板を立ててはどうか。
- ・酔っ払いが道に飛び出てくることもある。車にもヒヤリハットマップで注意喚起してはどうか。

②自転車の利用マナー

- ・授業に遅れまいと慌てて走っている大学生の危険な自転車運転がみられるが、大学の構内に注意喚起の看板は少ない。学生に対しての注意喚起は、学内ではあまり行っていないのが現状。
- ・学内の駐輪場に、注意喚起看板を立てることは可能かもしれない。合わせて、ヒヤリハットマップを配布してはどうか。
- ・ヒヤリハットマップや看板などを、目立たせる工夫が必要。
- ・学生は自転車保険には入っているのだろうか?調べてみたい。
- ・自転車専用レーンの整備が進んでいるが、まだ部分的だ。

- ・私有地での放置自転車に困っている。
- ・高齢者は視野が狭く危険。
- ・自転車のシェアリングが最近多くなっている。
- ・警察も手が足りなく、小さい事故や事件までは手が回らないようだ。

③安全確保や整備

- ・自転車もどこを走ってよいか肩身が狭いのが現状で、自転車レーン整備に期待したい。
- ・道路を良くしたい。
- ・夕方は自転車や歩行者が車から見えにくいので、高齢者は明るく目立つ色を着た方が良い。
- ・ディスカウントスーパーなどで蛍光色のタスキを売っているが、夜間は目立って良い。
- ・光が反射するウェア、タスキ、ステッカー、腕章などを身に付けると良い。防犯パトロールのベストを高齢者に贈ると喜ばれる。
- ・自転車レーンも狭いとかえって危険かもしれない。
- ・埼大通りを夜に、自転車で走るのは危険。死亡事故もあった。
- ・自転車レーンを蛍光塗料で塗って夜間に光るようにしてはどうか。

④高齢者の代替交通手段

- ・公共交通手段が、もっときめ細かくあれば良い。
- ・コミュニティバスが進化したコミュニティタクシーを運行する自治体もある。
- ・タクシー乗車に補助金があるといいのではないかな？
- ・コミュニティバスの便数を増やすなど、もっと頻繁に走らせられないかな？ボランティアも募ってできることはないかな？
- ・かつて、子どもを幼稚園に送迎する子育てタクシーがあったと聞いている。
※補足：後日確認したところ、全国でいくつかの市町村で運行されており、本市でも運行されている。
- ・都バスでは高齢者は運賃が無料になるらしい。
※補足：後日確認したところ、70歳以上の人は20,510円、一定の収入要件を満たす場合は1,000円でシルバーパスを購入することができる。
- ・買い物は宅配が充実してきているが、高齢者は外に出て自分で買い物をすることも大切だ。
- ・買い物をマイカーでサポートしてあげるサービスはできないかな。

(2) その他

- ・榎本委員より、無料塾ひこご「ひこご便」の配布と紹介があった。

3 その他

事務局より、「サクラ・スポレク」及び「高齢者自転車安全講習会」の案内と、次回会議について、平成29年12月22日（金）10時～ 4階大会議室にて開催する旨の連絡があった。

4 閉会

以上